

## 設立趣意

私たちは、大学の歴史は個別大学史の枠にとどまるものではなく、他大学や社会との関連を視野に入れて編纂されるべきであり、大学に蓄積された資料は、大学文書館や大学資料館といった常設機関で整理・保存され、広く社会に公開・利用されるべきであると考えます。この協議会は、研究会・講演会等の部会活動を通じてこれらの問題に取り組んでいきます。

## 協議会の歩み

1986年11月 [東] 大学史連絡協議会(仮称)発足  
1988年 6月 [東] 関東地区大学史連絡協議会設立  
23大学、個人2名  
1989年 1月 [東] 『大学アーカイブズ』創刊  
4月 [西] 大学史担当者連絡会の準備会発足  
1990年 5月 [西] 西日本大学史担当者会設立  
18大学  
1991年 5月 [西] 『会報』創刊  
1992年 9月 [東西] 初めて合同研究部会を開く  
(~1995年まで毎年開催)  
1993年 5月 [東] 東日本大学史連絡協議会と改称  
1996年10月 全国大学史資料協議会設立  
62大学、個人20名  
1998年 1月 全国大学史資料協議会  
リーフレット発行  
1999年 3月 [東] 『東日本部会の十年の歩み』刊行  
2000年 3月 『研究叢書』創刊  
2005年12月 『日本の大学アーカイブズ』刊行  
2006年10月 10周年記念の総会・全国研究会開催  
2008年 4月 協議会ホームページ開設  
2009年 3月 [東] 『東日本部会の二十年の歩み』  
刊行  
2010年 1月 [東] 全国大学史展『日本の大学  
—その設立と社会—』開催(~2月)  
2011年 6月 会員数  
[東] 72大学、名誉会員4名、個人会員27名  
[西] 35大学 個人会員8名  
合計107大学 個人会員39名

※1996年以降、[東]東日本部会・[西]西日本部会となる。  
それ以前は、単独組織である。

## 全国大学史資料協議会規約

### (名称)

第1条 この協議会は、全国大学史資料協議会 (Japan Association of College and University Archives) と称する。

### (目的)

第2条 この協議会は、大学史に関する情報交換と研究、並びに会員相互の質的向上と交流をはかることを目的とする。

### (事業)

第3条 前条の目的を達成するため、次の事業を行なう。

- (1) 大学史に関する情報交換
- (2) 史資料の収集、保存、利用に関する研究
- (3) 研究会(研修会)、講演会の開催
- (4) 会報等の発行
- (5) その他、前条の目的遂行に必要な事項

### (会員)

第4条 会員は、第5条に定める部会に属する大学・短期大学等の機関及び個人とする。

### (部会)

第5条 この協議会に次の部会を置き、部会規約は各々別に定める。

- (1) 東日本部会
- (2) 西日本部会

### (役員会)

第6条 この協議会に役員会を置く。

- 2 役員会は第5条に定める部会の幹事校によって構成され、協議会の運営を協議・決定する。
- 3 役員会に会長校・副会長校・事務局校を置く。会長校・副会長校は各部会長校が2年ごとに交代で勤め、事務局校は役員会の互選により選出する(任期2年)。
- 4 役員の交代は総会において承認をうける。

### (総会)

第7条 総会を年1回(10月)開催する。総会は、会員の過半数の出席をもって成立する。なお、欠席届をもって委任状とみなすことができる。

- 2 総会審議は、出席会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

### (会計)

第8条 会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

### (経費)

第9条 この協議会に必要な経費は各部会より支出し、経費按分については事業ごとに役員会において決定する。

### (規約の変更)

第10条 この規約は、総会出席会員の過半数の賛同をもって変更することができる。

### 付 則

この規約は1996年4月1日より施行する。

1998年9月30日、第1条改正(英文名称)

2003年10月1日、第7条改正(委任状規定、第2項追加)

2009年10月14日、第4条改正(個人会員明記)

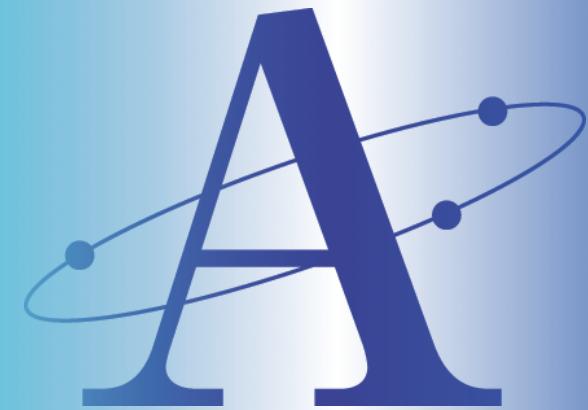
2010年10月6日、第1条・第7条・第10条改正

(英文名称、会員権限規定表記の統一)

以上

# 全国大学史資料協議会

Japan Association of  
College and University Archives



シンボルマークのAは「Archives」を、  
取り囲む3つの惑星は大学史資料の  
「収集・保存」「公開・活用」「研究」を表しています。

## 東日本部会・西日本部会の活動



東日本部会第75回研究会「新たな史資料の収集と利用」  
於：武蔵野美術大学（2011.7.14）



全国大学史展  
「日本の大学  
-その設立と社会-」  
於：明治大学  
(2010.1.15～2.14)



西日本部会 2010年度第1回研究会 於：関西大学 (2010.6.4)

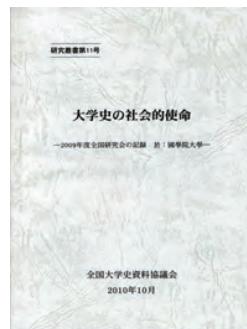


西日本部会 2010年度第2回研究会 於：エコミューズ(2010.7.21)

## 刊行物



『日本の  
大学アーカイブズ』



協議会『研究叢書』



東日本部会  
『東日本部会二十年の歩み』



東日本部会会報誌  
『大学アーカイブズ』



西日本部会会報誌  
『西日本部会会報』

協議会には東日本部会と西日本部会があります。総会・全国研究会以外に各部会での研究会を開催しています。講演会、見学会などを通じて、大学史編纂、資料保存、展示、自校史教育などの充実に大きな役割を果たしています。

## 総会・全国研究会の5年

年度	開催地・テーマ
2006	広島大学・呉市海事歴史科学館 「大学アーカイブスにおける個人文書 個人文書の整理・公開の現状と課題」
2007	成蹊学園・川崎市公文書館 「創立期大学史資料の特色」
2008	琉球大学・沖縄県公文書館 「戦時下・占領下・米国統治下における大学史料」
2009	國學院大學・国文学研究資料館 「大学史の社会的使命」
2010	熊本大学・熊蔵ミュージアム・宮本記念館 熊本市歴史文書資料室 「大学史編纂・史料保存と自校史教育」



上：2010年度 全国研究会見学 於：熊蔵ミュージアム (2010.10.8)

下：2010年度 全国研究会見学 於：熊本大学工学部研究史料室  
(2010.10.7)

